**1　はじめに**

**「人から学ぶ」を大切に**

**支部活動の改革・充実を図る1年に！**

ときわ会　魚沼・小千谷支部　支部長　小千谷小学校　佐藤　浩一（63）

４月27日(水)に昨年度に引き続き、平日夜に支部総会を開催しました。対面を軸に会員の個々の事情にも配慮したハイブリッド方式で実施しました。ときわ会創設150周年に関わる支部活動として、第２部で研修委員会による講演会「志の継承」、第３部で組織委員会による「真価を問う交流会」を実施しました。ご準備いただいた総会運営委員会、研修委員会、組織委員会の皆様に心より御礼申し上げます。

**２　令和５年度　支部運営基本方針について**

支部総会では、以下の「令和５年度　支部運営基本方針」を全会員で確認しました。

|  |
| --- |
| 魚沼・小千谷に学び、人とつながり、未来を創る子どもを育む教育の実現～子どもたちに変化の激しい社会をたくましく生き抜くための資質・能力と郷土愛を育む～ |

(1)自ら「主体的・対話的で深い学び」の実現を

新型ウイルス禍により、オンラインによる研修や会合が増え、時間や経費の負担が軽減された一方で、人と人とのつながりが希薄化し、会員の所属感や研修意欲等の低下を招いています。このような状況だからこそ「会員一人一人が主体的に学び合い、切磋琢磨しながら新たな価値や意味を見出せる研修」や、「親睦を深める取組」を推進し、支部活動の質的向上を図っていく必要があります。

また、１人１台端末を効果的に活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る中で、子どもたちに資質・能力を育み、持続可能な社会の創り手としての全人的な発達・成長を保障していくことが求められています。そのためには、会員一人一人が「ときわ会本旨」に掲げられた使命を深く自覚し、主体的に支部活動に参加して相互に練磨し合いながら、自らを高めていかなければなりません。

(2)地域の教育を託されたことへの誇りと自覚を

当支部会員には、この地域の教育を託されたことに誇りと気概をもち、地域の信頼に応えるべく、「未来を創る子どもたちが変化の激しい社会をたくましく生き抜くための資質・能力」と「郷土愛」を育む教育を推進してほしいと願っています。

今年度は、ときわ会創設150周年の大きな節目です。ときわ会150年の歴史と伝統を踏まえながら、支部活動のさらなる充実のために、大きな改革の一歩を踏み出す１年にしたいと考えています。

**３　令和５年度の支部活動でここが変わる**

全ての支部活動において「人に直接会って学ぶこと」と「支部活動を一歩でも半歩でも改善・改革し、充実し続けていくこと」を支部総会で確認しました。具体的には、次のような改革を今年度行います。

|  |
| --- |
| ①支部会費を昨年度額より一人頭5,000円減額する。②「年層別研修」を組織委員会の担当に変更し、絆を深めることに重点をおいた活動を行う。③支部広報誌「山河」を４回の発行から３回とし、会員には支部メールでPDFデータを送信する。④11月の「教育フロンティア」(研修総会)後に、水明会（ＯＢ会）のみなさんと全支部会員による合同懇親会を実施し、より一層志を継承し、絆を深める。⑤昨年度からの支部メールに加え、今年度から支部LINEも活用し、連絡の一層の効率化を図る。⑥新設した「支部未来構想委員会」が、会員のニーズ等を集約する。理事会等で検討し、次年度からの一層の改革につなげる。など |

今年度の支部活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。